

令和6年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

令和 7年 5月 2日

団体所在地 広島市安佐北区深川

8丁目36-13

団体の名称 学校法人 うすい会

広島高陽学園

職・氏名 理事長 碓井 法明

(施設名 広島高陽学園)

1 活動報告

【4月～6月】(春季)

(活動内容)

- ・つつじの色染め ・枝豆の種まき
- ・梅の収穫・ジャガイモの収穫
- ・田作り ・とうもろこしの苗植え
- ・田植え
- ・スイカ・かぼちの苗植え
- ・朝顔の栽培
- ・春の草花で遊ぶ

【7月～9月】(夏季)

(活動内容)

- ・水遊び
- ・スイカ・枝豆・オクラ・トマト・トウモロコシの収穫
- ・ポップコーン作り
- ・お月見会

【10月～12月】(秋季)

(活動内容)

- ・稲刈り ・天体望遠鏡で月を見る
- ・玉ねぎ植え・大根の種植え
- ・さつま芋掘り・稲刈り
- ・収穫祭・脱穀・おむすび作り
- ・もちつき

【1月～3月】(冬季)

(活動内容)

- ・大根抜き
- ・雪遊び
- ・春見つけ
- ・じゃがいもの種芋植え
- ・木の宗山登り

活動報告（詳細）

【4月～6月】

（田作り）



年長組は、5月から米作り体験が始まります。田植えに向けて田んぼの土を足で踏んで田んぼ作りをしました。初めて田んぼの泥の感触に触れたので、子どもたちは、始めはひと足ひと足ゆっくり田んぼの中を歩いていました。次第に泥の感触にも慣れてくると「ぬるぬるで気持ちいい!!」「冷たいね!」などと言いながら楽しんで泥の中を歩いたり走ったりする姿が見られました。子どもたちの足の力で泥が柔らかくなり、田んぼが完成して田植えの準備が出来ました。このあと田植え、稲刈り、脱穀、精米、おむすびづくりと続きます。

【7月～9月】

（スイカの収穫、スイカ割り）



年長組は5月にスイカの苗を植えて、8月に収穫をしました。スイカを撫でて、つるつるした表面の感触を楽しんでいる子どももいました。大きなスイカに子どもたちは大喜びで、友だちと協力して園まで持って帰りました。

園に戻って準備をし、楽しみにしていたスイカ割り大会をしました。友だちを応援したり、割れたことを喜んだり、楽しい気持ちをみんなで共有することができました。割ったスイカを切ってもらって、みんなで味わって美味しくいただきました。

【10月～12月】

(稲刈り、脱穀、おむすびづくり)



5月に植えたお米の苗が生長し、10月に稲刈りをしました。刈った稲をはでに干して乾かしました。

11月に足踏み式千歯こきで脱穀をしました。保育者と一緒に稲を持って機械にかけました。子どもたちは、稲からお米がバラバラとれていく様子を、目を輝かせてみていました。

脱穀して精米したお米を給食室で炊いてもらい、おむすびづくりをしました。自分の手でしっかりとぎって大きなおむすびをつくりました。子どもたちは喜んで大きな口で「おいしい！」とにこにこ笑顔で食べました。おかわりする子どもも多く、自分たちの田んぼでとれたお米で作ったおむすびを味わって食べました。

【1月～3月】

(大根の収穫)



10月に大根の種を畑にまきました。人差し指くらいの穴の中に種をまき、「おおきくなあれ！」と子どもたちが言いながら土のお布団をかけました。時々、畑に大根の成長を見に行き、葉っぱが大きくなっていることに気が付き「おおきくなったね！」とお話ししながら見ていました。

1月に大きくなった大根を抜きました。大きな大根を両手で「よいしょ！よいしょ！」と、大きな声で力いっぱい抜きました。抜けた大根を嬉しそうに見せてくれました。給食で豚汁の中に大根が入っていました。「高陽学園の畑の大根だね！」と、子どもたちは嬉しそうに話し、おいしくいただきました。

2 その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）※記入必須

- ・ 職員の資質向上について

（例）こども環境管理士を担当保育士が取得（12月）

- ・ 地域との関わりについて

専門知識のある地域の方に野菜の土づくりや栽培方法を実際に指導していただき、学んでいく。

- ・ 保護者との関わりについて

田植え見学の日等を設け、保護者の方も田植え体験ができるようにする。

- ・ その他

＊より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページや SNS の URL をご記入ください。

U R L	
-------	--